

科目名	介護福祉総合演習 1					単位	1.0
担当教員	木野 美恵子・村上 逸人・大前 若子・下山 久之・林 三代志						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	2508

●授業のテーマ

介護福祉実習 I についての導入学習と事後学習

●到達目標

介護福祉実習 I における実習の教育効果を上げるため、実習後・実習期間中に、実習に必要な知識や技術を、個別の学習到達状況に応じて総合的学習する。

●学習内容(授業概要)

介護福祉実習 I における学びを深める演習である。介護福祉実習 I は、利用者の生活の場と利用者の 24 時間の生活を知る体験型実習である。介護福祉総合演習 2 では、介護福祉実習 I-1 45 時間、介護福祉実習 I-2 135 時間の実習を、学生が目標をもち計画的に学習するために、実習に必要な知識や技術を獲得するためのものである。事前学習・帰校日学習・事後学習がある。認知症対応型生活介護（グループホーム）・訪問介護員（ホームヘルパー）との同行訪問による訪問介護・通所介護（デイサービス）が主であり、最終には宿泊実習もある。

実習施設ごとの法的根拠と特徴を知り、生活者としてさまざまな場所で生活される利用者より、利用者の過去から未来の歴史を考えることができる介護者として利用者への援助のあり方を学び、利用者の望ましい生活を知ることができる。介護福祉実習分野（通所介護・訪問介護・グループホーム等）の介護技術、またその分野における諸問題や課題を分野別に具体的に理解する。

●学習内容(授業計画)

1. ガイダンス

介護福祉実習 I-1 45 時間の内容についてオリエンテーション
実習記録の書き方

2. I-1 実習のまとめ

3. 介護福祉実習 I-2 オリエンテーション A の事前訪問の報告と実習内容の確認

4. 介護福祉実習 I-2 A の帰校日学習・介護技術の確認

5. 介護福祉実習 I-2 A の事後学習/学んだことのプレゼンテーションと実習記録の提出 B の内容についてオリエンテーション

6. 介護福祉実習 I-2 B の事前訪問の報告と実習内容の確認

7. 介護福祉実習 I-2 B についての帰校日学習 C の内容についてオリエンテーション

8. 介護福祉実習 I-2 C の事前訪問の報告と実習内容の確認

事後学習/学んだことのプレゼンテーションと実習記録の提出

介護福祉実習 I-2 全体の実習のまとめ

実習で学べたこと。学べなかったことを明らかにする

●準備学習・事後学習の内容

次回の講義内容を調べる基礎学習をしてくる。

事後学習として記録を完成させておくこと。

特に実習終了後の実習記録の提出は重要である。

●成績評価方法・基準

実習計画 30% 実習報告 40% 平常点 30%

●テキスト（必携）

指定しない

●参考文献／その他

特になし。

●履修上の注意

特になし。